

抗 HIV-1 p15 抗体、ウサギ抗血清

65-011 100 µl

保存: 4°Cまたは-20°Cで送付、-20°Cで保存

免疫原: 大腸菌で発現させて精製したリコンビナント HIV-1 Gag p15

形状: 0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

用途: HIV-1 p15 の検出や定量を目的としたウエスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。

背景: HIV-1 Gag p15 は、前駆体である Gag p55 から HIV-1 のプロテアーゼにより切断されて生成する。このタンパク質は、さらにヌクレオカプシド蛋白質 p7 と機能不明の p6 および p1 に切断される。この切断は、p7 の領域に存在する 2 つの Zn フィンガーモチーフによる HIV-1 ゲノムの RNA との結合によって促進する。また、生成したヌクレオカプシド p7 蛋白質は、HIV-1 ゲノムの RNA と直接結合することにより、RNA の機能を調節している (1)。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノムの *gag* 領域にコードされている p15 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したリコンビナント p15 をウサギに免疫して作製した (2)。

本品を抗血清として用いたウエスタンブロットにおいて、エイズウイルス感染細胞抽出液中に HIV-1 p15 の 15 kD のバンドおよび前駆体 p55 の 55 kD のバンドが検出された (図 1)。

データリンク GenBank: [AAA44988.1](#)

文献

1. Freed EO “HIV-1 gag proteins: diverse functions in the virus life cycle.” *Virology* **251**:1-15 (1998)
Review PMID: [9813197](#)
2. Saito A *et al* “Overproduction, purification, and diagnostic use of the recombinant HIV-1 Gag proteins, the precursor protein p55 and the processed products p17, p24, and p15.” *Microbiol. Immunol.* **39**:473-483 (1995) PMID: [8569532](#)

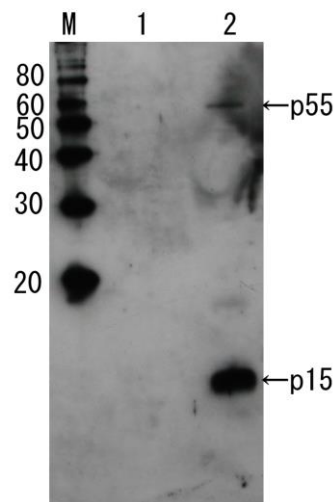


図 1 抗 HIV-1 p15 抗体を用いたウエスタンブロット法による p15 抗原の検出
レーン 1: MT4 細胞抽出液
レーン 2: HIV-1 (LAI 株) 感染 MT4 細胞抽出液
抗血清は 1,000 倍希釈して使用